



2020年5月7日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

2020年3月期経営業績と前期経営業績との差異に関するお知らせ

2020年3月期経営業績と前期経営業績との間に上場規程に定める基準を超える乖離が生じたため、下記を開示いたします。

- 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)と2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)との差異

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

連結経営成績	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2020年3月期(B)	12,476	4,479	4,423	2,301
2019年3月期(A)	11,239	3,901	4,051	3,246
増減額(B-A)	1,237	578	372	△944
増減率(%)	11.0	14.8	9.2	△29.1

当連結会計年度末における当社グループの運用資産残高は、1兆1,241億円(前連結会計年度末は1兆1,856億円)(注1)と前連結会計年度末に比べ5.2%減少したものの、日本の公募投信や未来創生ファンドなどの当社グループの平均残高報酬料率よりも高いファンドの残高報酬が、前連結会計年度に比べ増加したことにより、残高報酬(注2)は、前期比5.0%増の107億10百万円となり、また、成功報酬(注3)は、前期比79.0%増の16億52百万円となり、営業収益は前期比11.0%増の124億76百万円となりました。

営業費用及び一般管理費は、前期比9.0%増の79億96百万円となりました。これは、これは主に委託者報酬(残高報酬)の増加に伴う支払手数料が増加したこと及び業容拡大に伴う人件費、事務委託費等が増加したことによるものです。

これらの結果、営業利益は前期比14.8%増の44億79百万円、為替差損等を計上した結果、経常利益は前期比9.2%増の44億23百万円となりました。また、当社が保有する投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却損及び投資有価証券評価損、減損損失を特別損失に計上し、税金等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比29.1%減の23億1百万円となりました。

(注1)当連結会計年度末(2020年3月末)の運用資産残高は速報値であります。

(注2)残高報酬には、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所等の管理報酬を含んでおります。

(注3)成功報酬には、株式運用から発生する報酬の他、日本不動産投資戦略に関連する不動産購入・売却に対して当社グループがファンドから受ける一時的な報酬や、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所スキームの組成の対価等として受ける一時的な報酬(アキュジションフィー)を含んでおります。



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 経営管理部
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101